



地域に向けてひとこと

あくまでも現在行っている開発の一例ですので、一次産業に使用される高分子材料やそれ以外の機能性高分子材料に関するお困り事がありましたらご相談下さい。

浪越 毅

Namikoshi Takeshi

准教授 ・ 博士 (工学)



地域に向けてできること

訪問講義

小中
学校

高校

一般
企業

科学・ものづくり教室

小中
学校

高校

一般
企業

高分子の合成

研究室見学

小中
学校

高校

一般
企業

技術相談

有機合成装置全般、クロマトグラフィー

機能性高分子合成、高分子材料の機能化

研究テーマ

ポリマーコーティング種子による秋播き栽培方法の開発

研究分野

●ナノテクノロジー・材料

●環境

研究キーワード

農業、直播栽培、種子

SDGs



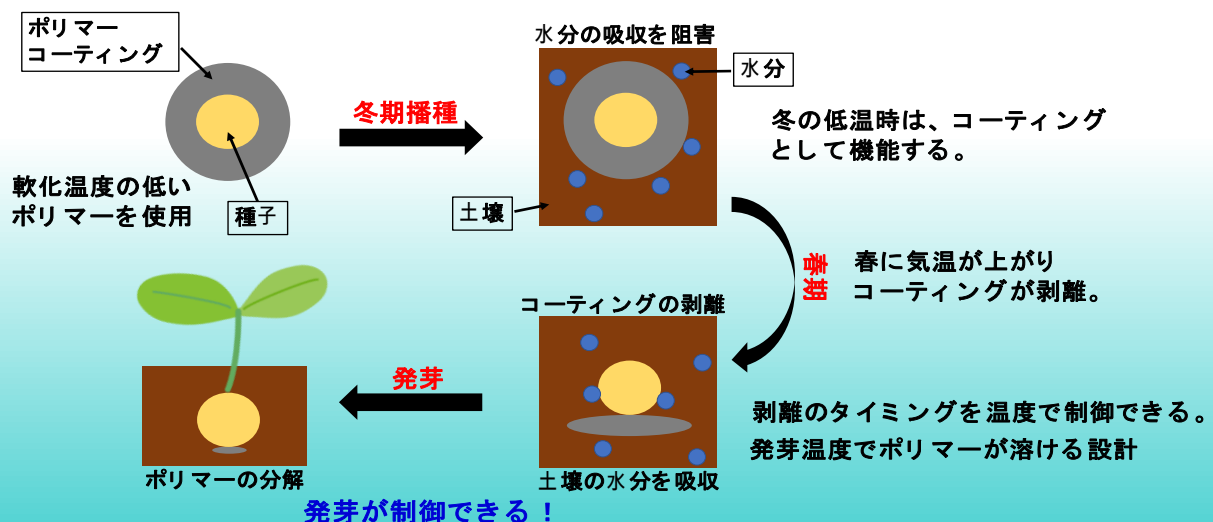
概要

道内重要作物の玉ねぎやは移植栽培が中心ですが、農家減少と高齢化で今後は直播栽培が主流となる。しかし、直播でも春に農作業が集中してしまいます。そこで収穫後の農閑期に播種を可能とするため、ポリマーを多層コーティングした種子を作成しました。これにより2層のコーティングが秋から春までに剥離し、春に発芽する発芽制御を確立しました。

アピールポイント

これまでにはない、発芽コントロールを目的にした種子のコーティングであり、今後様々な作物に適應させることができると考えています。これにより農閑期に作業が出来るようになります。

冬まき栽培システム



種子をポリマーでコーティングして、冬の農閑期に播種が可能に！